

人権まつり開催

人権まつりが佐賀・大方地域で開催されました。

佐賀地域では昨年12月14日(土)、「解放運動の光と熱を未来へ」をテーマに、「第31回横浜解放まつり」が佐賀町民館で行われました。

午前の部は、佐賀中学校吹奏楽部の演奏や人権作文の発表、佐賀保育所の園児らが、太鼓の演奏や手話を交えて歌を披露しました。

午後の部は、宮内則人さんによる記念講演・一人芝居「明日へ」から始まり、結婚差別や水平社運動などさまざまな人権問題に触れる内容に観客は真剣に見入っていました。



解放子ども会による劇の発表

その後、佐賀中学校の生徒会執行部によるいじめ問題や仲間づくりのための取組の発表、解放子ども会小学
も会小学
校部会に
よる「教科
書無償運
動のたた
かい」が人
権劇で発
表されま
した。

大方地域では、2月1日(土)、「笑顔でつなぐ希望と未来」

をテーマに「2020大方人権まつり」がふるさと総合センターで開催されました。

大方中学校吹奏楽部による演奏から午前の部が始まり、小中学生の人権作文の発表や大方中央保育所の園児らの歌と踊り、

浜松解放子ども会による音読や活動紹介などの発表が行われました。また、「おらんくの先人紹介」では、昭和39年開催の東京オリンピックで聖火ランナーを務めた澳本一博さんが紹介されました。



園児らのダンス

午後の部は、monさんによる「うまれてきてくれてありがとう」と題した人権コンサートが行われました。子どもへの愛情の大切さなどを歌と語りで伝え、来場者からは、「とてもあたたかい時間になった」などの感想が聞かれました。

専修大野球部が春キャンプ

専修大学硬式野球部が2月14日(金)から24日(月)まで町内でキャンプを行い、15日(土)には歓迎式典が開催されました。

同部は東都大学野球部連盟2部リーグに所属し、1部リーグ昇格をめざしています。

式典では、大西勝也町長から「黒潮町での練習で勢いをつけ、リーグ戦を勝ち抜いてほしい」とあいさつがありました。また、同部の金沢龍介主将が「絶対に1部リーグに昇格し、黒潮町の皆さんにいい報告ができるよう頑張りたい」と意気込みを示しました。



関係者による記念撮影

同部が町内でキャンプを行うのは今年で4年目。今回は96名が参加しました。齋藤正直監督は、「今年は暖冬だったこともあり、選手たちの体はできている。このキャンプでは1部リーグ昇格に向けて、実践的な練習を行いたい」と話しました。

創価大学駅伝部が合宿に

創価大学駅伝部が2月3日(月)から10日(月)まで、町内で合宿を行いました。

同部が町内で合宿を行うのは3回目。今回は、1月に開催され、同大学が初めてシード権を獲得した第96回箱根駅伝に出場した選手など9名が来町し、土佐西南大規模公園周辺や入野松原で走り込みを行いました。

同部の久保田満ヘッドコーチは四万十市出身で、「中学生の頃、入野の浜でよく練習していた。この合宿では、箱根駅伝で力を出し切った選手たちにパワーを充電してもらいながら、しっかりと走り込み、スタミナ強化に重点を置きたい」と話しました。



走り込みを行う選手ら

箱根駅伝で8区を走った鈴木大海選手は、「海沿いの道は走っていて気分転換になった。来年の箱根駅伝では区間賞を取りたい」と意気込みを話しました。